

コケ類などの緑化植物を利用した建築物等の緑化事業

スナゴケをボード、マット、トレーなどにユニット化した緑化ユニットを利用した屋上緑化、法面緑化等緑化事業。

➤ 連携体

農林漁業者

白川緑化植物生産組合（農業）

中山間地の遊休農地を活用したスナゴケ栽培と、緑化に適した品質のスナゴケの安定供給に取り組む。

中小企業者

塩谷建設株式会社（一般土木建築工事業）

スナゴケを緑化用のユニットに加工して、建築物の屋上や法面の緑化施工、維持・管理を行う。

連携参加者

富山県立大学（大学）

スナゴケユニットを利用した緑化の省エネ効果などの実証試験を行う。

サポート機関等

（公財）富山県新世紀産業機構、（独）中小企業基盤整備機構北陸本部

➤ 連携の経緯

塩谷建設株は公共工事の減少などによる売上減少の対応として、建築物等の緑化事業などの環境事業を進めている。

建築物等の緑化事業に関しては、当初緑化ユニットを県外から購入して試験を進めていたが、平成23年度から地元農業者の白川緑化植物生産組合とスナゴケの栽培試験をスタートし、遊休農地の有効活用と緑化資材の安定供給体制構築においてお互いの思惑が一致したことから本連携事業を着手するに至った。

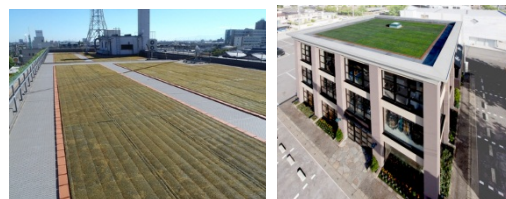


スナゴケの栽培圃場

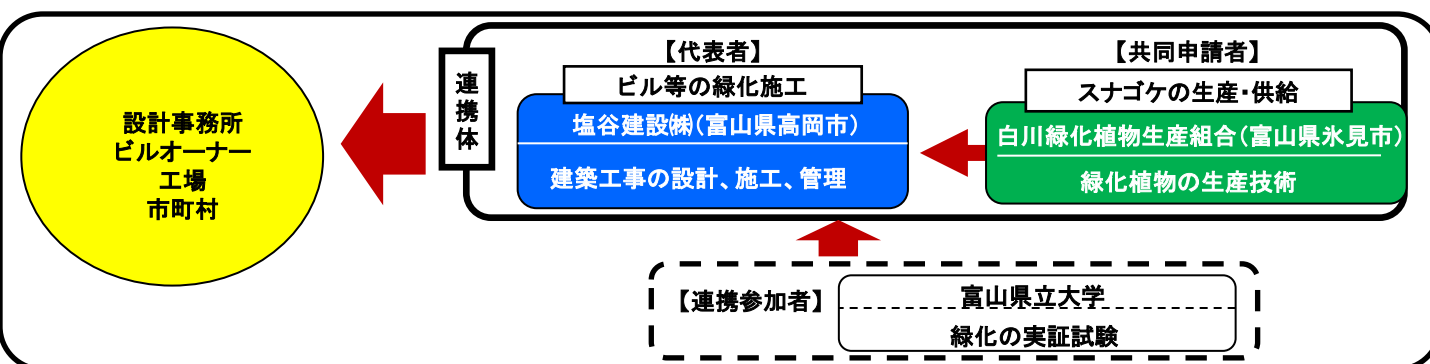
➤ 連携に当たっての課題や工夫等

白川緑化植物生産組合は中山間地の遊休農地を有効活用して、スナゴケの栽培を行う。高品質の緑化用スナゴケを栽培するために、排水性の良い傾斜のある畝を作り、さらに防草シートとマルチで覆いその上にスナゴケを生育させる基盤材を敷く。また、遮光ネットの活用により生育期間を短縮する。

塩谷建設株は、スナゴケを緑化する建築物の形状、材質、性能に応じた緑化ユニットに自社で加工して施工する。さらに施工後の定期的なメンテナンスを含めた一連の緑化事業を行う。



屋上緑化ビル



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で1,473万円の売上高増加、緑化用のコケ類を本格的に栽培する新事業を展開

遊休農地を有効活用して緑化用のコケ類の栽培面積を拡大していくことで農業の経営改善が期待される。

中小企業者

5年で4,597万円の売上高増加、コケ類の特徴を活かした建築物等の緑化事業を展開

本業の土木・建築業をベースに、新たに緑化事業展開することにより相乗効果による経営の向上が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：塩谷建設株式会社

T E L : 0766-26-4636

E - m a i l : yamabe@shiotani.co.jp

所在地：富山県高岡市石瀬6-1

F A X : 0766-26-6167

ホームページ：http://www.shiotani.co.jp